

第2回協議会だより 《中方部》



令和6年10月28日（月）15:00～16:40 市役所 正庁

【実践発表】 ひまわり保育園

遊びを通して育まれる資質・能力について～「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」から捉える～

～小学校入学に向けての接続を意識した取り組み～
子どもの『やってみよう！』『がんばってみよう！』『できた！』を大切に
廃材遊びから…



ひまわり保育園は近くに学校や商業施設があり、賑わいのあるところに立地しています。広い芝生があり、そこでは虫探しや野菜の栽培をしており、今年はヤギと触れ合う貴重な体験をしました。今回は、5歳児の担任から年長組の保育について発表していただきました。先生は小学校入学に向けての接続を意識して、カリキュラムを実施しています。例えば基本的な生活習慣を視覚的に支援しており、当番活動を積極的に行っています。また、散歩を通して担任と地図を作り、安全に対する意識を高めました。パリオリンピックがきっかけで鉄棒や縄跳びに挑戦し、記録を数字やグラフで表わしたところ「もっと頑張る！」という気持ちが芽生えたそうです。実際に行ってみて、苦手な子に対しての配慮も気付いたそうです。上記左の写真は空き箱等の廃材を利用した製作遊び、中央は海の共同製作をしているところです。担任の先生が就学を見通して丁寧に保育を実施しているので、子どもたちは期待を持って入学できると感じました。

【協議会】 グループ協議で発表に対する感想・意見交換が行われました。



☆ ひまわり保育園の発表について

- ・担任の先生は、子どもの就学を見通し「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」を踏まえた保育活動や生活に必要な基本的な習慣や態度について丁寧に指導しており、目指す方向性が明確です。
- ・環境設定や担任の関わりが子どもたちの学びに繋がっていることを改めて認識しました。子どもの声に耳を傾けながら主体的に遊びを展開していることが素晴らしいです。

☆ 遊びを通して育まれる資質・能力について～「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」から捉える～

- ・「10の姿」を意識して保育をしているが、「10の姿」は到達目標ではなく、毎日の保育の積み重ねや総合的な学びでその姿が現れるものです。
- ・遊びを通して自然に就学への意欲が高まると良いと思います。そのためにも子どもの視点に立って環境を整えることが重要です。

《参加者からのアンケートから》

- ・小学校の先生と具体的な情報交換ができて有意義な協議会でした。子どもの「やってみよう」「これならわかる！」という自発的な気持ちを育むことが大事で、それは幼保も小も同じです。寄り添う気持ち、環境の一つでもある「人」が、しっかりと子どもに向き合うようにしていきたいと思います。（保育所：参加者）